

田中大志 監督作品

特定の場所で声が出せない  
場面緘黙症<sup>かんもく</sup>を抱えた青年が、  
踊りに出会う。

# そのこえ

6月14日(日)

伏見ミリオン座

先着74名

15:00~17:00

受付開始 14:30

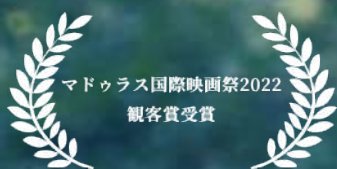
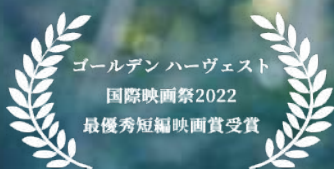
一般料金 ¥1,800

高校生以下  
障がい者手帳提示 ¥1,500

予約フォーム



席数に限りがあるため事前に  
上記からお申し込みください。



亮介 有泉汐織 柳井綾子 三浦勇真 橋本進 小川惇貴 橋本秀幸 (特別出演)

監督・脚本・編集 田中大志 プロデューサー 芹井祐文 撮影 須藤しぐま 照明 杉山颯太 録音 鱈部昌太 衣装 太田皆人 ヘアメイク 森下浩美  
振付 尾花藍子 サウンドデザイン 阿尾茂毅 音楽 橋本秀幸 後援 社会福祉法人 萌 ひだまり

2022 | 日本 | 39分 | DCI | 4ch | 英題: The Voice © 映画「そのこえ」製作委員会

同時上映

キャストもスタッフも全員地元住民  
田中監督が移住した京都府南丹市で住民と共に創る  
短編映画集『ボクらの歳時記~夏春夏秋冬~』第1弾

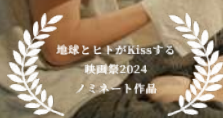
## 地藏に願いを

出野太陽 船越翔 北村葵 湯浅たみ子

2023 | 日本 | 30分 | ビスタ | 2ch | 英題: Wish Upon a Jizo | 製作: 世木地域振興会



地藏盆の日に、  
少年たちは何を願い、  
何を見つめるのか！



# 映画「このこえ」

# Voice audience

監督自身の体験を基に、  
声にならない「こえ」を描く。

人としっかり向き合いたいと、  
改めて感じることができました。  
(40代女性)

自分なりの声の出し方を  
見つけられたらいいなと感じました。(30代男性)

美しく、優しさに  
満ちた映画でした。(60代女性)

僕にとって、一生忘れられない  
映画となりました。(10代男性)

子どもが場面緘黙です。  
あの子の内情を知れた気がして、涙しました。(40代男性)

これから毎夏、蝉の鳴き声を聞くたびに  
この映画を思い出そうです(50代女性)

吉沢風は家の外では声を出せない症状を抱えながら、就労継続支援事業所に通っていた。新しく働きに来た藤崎葉に話しかけられるが、風は彼女に言葉を返すことができない。ある日、風は森の中で最近始めた蝉の抜け殻探しをしていた。その時、どこかで木の葉が擦れる音がした。近寄ってみると、陽だまりの中で葉が踊っていた・・・

場面緘黙(かんもく)は家族とは話せるのに、学校や会社など、特定の場所で話すことが難しくなる症状で、約400人に1人は発症するとされている。しかし、その認知度はまだまだ低い。本作は田中監督が留学時代に経験した声を出せなくなる体験を基に企画され、当事者への取材を重ねながら2021年に制作された。完成以降、全国各地で上映会を行いながら場面緘黙の認知を広げている。

# 映画「地蔵に願いを」

スタッフもキャストも  
全員映画制作未経験

「地蔵盆に見つけると願いが叶う」という地蔵を探しに、3人の少年が森の中に入り込むが途中で不思議な鳥居を見つける。そこをくぐると・・・

田中自身が移住して半年目で地域住民と制作したシリーズ第1弾。  
本作をきっかけに地域では映画部が立ち上がり、  
本格的に町での映画制作プロジェクトがスタートした。

移住監督と地元住民で  
描く小さな町の物語



## 田中大志

19歳の時にイスラエル留学に出発。現地でヘブライ語を学び、ベツアルエル美術デザイン学院映像表現学部に入學。在學中に制作した『ガリラヤの漁師』が2019ハイファ国際映画祭学生部門銀賞受賞。帰国後、2022年に日本での初監督作品として奈良県生駒市にて『このこえ』を制作する。地域と共に創る映画をより深めたいと考え、2023年に京都府南丹市に移住。町の人たちと少しずつ関係性を深めながら、町の四季や文化を織り交ぜた短編映画集「ボクらの歳時記～夏春春秋～」プロジェクトをスタートさせた。現在はシリーズ最後の作品となる第四弾について構想中。

Instagram



主催：Nachshon Taishi Tanaka Films  
E-mail: ttnachshon@gmail.com

田中大志 HP



後援：名古屋市